

同好会紹介

ゴルフ同好会



橘ライオンズクラブの中で最大のメンバー数を誇る同好会です。月に1度のペースで月例会を実施しております。また6月、12月にそれぞれ、総会、納会を実施し、おいしい食事をしながらの懇親を楽しんだり、年によって遠征を実施し、遠方へのゴルフ旅行を企画したりしております。世代を超えて楽しめる会となっており、特に新規入会の会員の方には既存会員との新たな交流の場として非常に有益な同好会です。

自転車同好会「リンリン倶楽部」



当クラブのサイクリング好きの集まりです。行動範囲はウォーキングほど狭くもなく、車ほど広くはないけれど色々な場所をめぐることができます。健康増進にもなります。過去には琵琶湖一周、しまなみ海道縦断、鈴鹿サーキット8時間エンデューロ、淡路島一周などの走行会を開催しました。

音楽同好会「ピラカンサス」



ピラカンサスは当クラブの2008年度計画委員会メンバーにて結成されたバンドです。初めは例会の余興としてクラブメンバーに演奏を披露しておりましたが、徐々にメンバーと活動の幅を広げ、京都ライトハウスといった視覚障害者施設や京都市北支援学校といった養護学校で「橘音楽祭」を開催し、多くの方に音楽を楽しんでいただきながら、メンバー以外の方にライオンズクラブの魅力を発信し続けています。

さくら会



さくら会は、京都橘ライオンズクラブメンバーのご婦人を中心に作られている会です。年に一度の総会と旅行や食事会を企画し、楽しんで頂いております。

ライオンズクラブ ご入会のおすすめ



ライオンズの原点は何よりも、地域社会に対する誠実な奉仕活動を通じ、より豊かでより自由な社会を想像することにあります。私たち京都橘ライオンズクラブは、会員一人ひとりの価値観やスタイルを超越し、真のライオニズムに立脚した社会奉仕活動を推進しています。派手さはなくとも風格のある活動を着実に蓄積するという、設立以来の伝統を未来に伝えるべく、日々努力を続けています。すでに高い徳性を備え、地域社会に貢献する見識あふれる志をお持ちの方へ、私たち京都橘ライオンズクラブにご参加くださるようおすすめいたします。

京都橘ライオンズクラブ

ライオンズクラブ国際協会は、1917年アメリカ合衆国シカゴ市で誕生しました。創立者、メルビン・ジョーンズはある実業団体の会員として市の有力者達と交際しているうちに、こうした集まりが単なるビジネスや社交上の集まりにとどまらず、社会のために何か有益な団体となりえないかという夢を抱き、各種団体の指導的立場にある人々に呼びかけ、その賛同者によってライオンズクラブは発足いたしました。以来協会の目的と綱領に対する共鳴者は全世界に広がり、現在では205ヵ国135万人、日本では10万人を超える会員を擁する世界最大の国際的協会団体です。

我が国のライオンズクラブは、1952年3月にフィリピンのマニラ・ライオンズクラブのスポンサーにより東京に誕生しました。現在では日本のライオンズクラブが3300以上に発展いたしました。

目的

- 世界の人びととの間に相互理解の精神を培い発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉及び公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし政党、宗派の問題を会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人々が個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するよう励まし、また商業、工業、専門職業、公共事業及び個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

モットー

We Serve
われわれは奉仕する

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する

協会のビジョン声明文

地域社会と人道奉仕におけるグローバルリーダーを目指す

協会の使命声明文

ライオンズを通じて、ボランティアに社会奉仕の手段を与え、人道的ニーズを満たし、平和と国際理解を育む

基本理念



京都御所 紫宸殿 右近の橘

清楚にして香り高く

「橘花は実さへ花さへその葉さへ
枝に霜降れど弥常葉の木」
～万葉の古歌より～

京都橘ライオンズクラブの「橘」の名は、京都御所の紫宸殿にある「右近の橘」に由来しています。左近の桜の華麗を避け橘の質実を以て旨とされました。秋に実を付ける橘は、日本で生まれた数少ない吉祥文様のひとつで古事記によれば、理想郷に自生し、長寿を招き、元気な子を授かる実と考えられています。「清楚にして香り高く」には、永遠に茂り芳香を放つ橘のごとく、ライオニズムの昂揚に努め、クラブ員の友愛を深め社会奉仕に注ぎ続けていこうという私どもの志が示されています。

クラブマーク



「非時の香の木実(トキジクノカクノコノミ)と称される「橘」の、いつでも香りを放つ「木の実」と常緑である「葉」をモチーフに、「連続して永遠に続く」私達の「奉仕の精神」を表現しています。

概要

- 結 成 1962年5月10日
- チャーターナイト 1963年4月21日 チャーターメンバー 31名
- 登録番号 国際協会登録 IBM, No. 5005 日本登録 No. 414
- 所 属 335C地区(京都、滋賀、奈良) 3リジョン1ゾーン
- スポンサークラブ 京都平安ライオンズクラブ
- 例会場 京都プライトンホテル
- 例会日時 毎月第2・第4火曜日 12:15~13:30

クラブ事務局

〒604-8277 京都市中京区三坊西洞院町561 善ビル303
TEL.075-221-3382 FAX.075-221-3389
E-mail : info@kyoto-tachibana-lions.com
URL : https://www.kyoto-tachibana-lions.com



すべての会員が平等で対等

幾多の奉仕団体が存在しますが、その中ですべての会員が平等で対等です。それゆえ各会員は先輩会員を敬い、先輩会員は後輩会員を大切に育んでいくのです。これがライオンズの誓いにある「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」基礎になっています。当クラブは楽しく学べ、過ごし、奉仕できる活動の場です。

年24回の「学び」と「実り」のある例会

例会は年間24回開催。会員の出席は、基本的に義務です。通常当クラブの例会は、昼に開催されます。会長の「開会のゴング」で始まり、会員奉仕活動報告、リジョン、ゾーン内の報告、楽しいお食事タイムを過ごしながらかゲストによる講演会など、テールツイスターによる余興で会員を楽しませます。年に数回、夜の例会(8月納涼例会、10月月見例会、12月年忘れ家族例会、2月オークション例会、6月引継例会)が開催され、お酒を愛でながら会員相互で楽しいひとときを過ごします。

開催日時:第2、第4火曜日 12時15分開会 13時30分閉会
開催場所:京都ブライトンホテル(例会により会場が変更になる場合があります。)



納涼例会



納涼例会



月見例会



年忘れ家族例会



新春例会



姉妹盟約50周年記念例会



オークション例会



引継例会

アクティビティ(奉仕活動の一例)

「清楚にして香り高く」を一年一年積み重ね、過去を見つめ直し、未来を見据えたアクティビティの一例です。



円山公園由来板設置



鴨川左岸環境整備事業としてガス灯設置



宝ヶ池公園野鳥の森四阿清掃活動



鴨川東岸花の回廊整備事業としてフットライト18基設置



平安養育院へ8人乗りボックスカー1台寄贈



京都市梅小路公園へ宮崎橘LCと合同で植樹



社会福祉法人京都ライトハウスへ車椅子仕様自動車などを寄贈



一般社団法人エシカル・サイクル・オーガニゼーションへ四条大宮駅周辺の駐輪場設備、整備の協力金寄贈



東日本大震災復興チャリティ横山幸雄ピアノリサイタル「鎮魂と再生を祈る桜を植えよう」開催



京都市立北総合支援学校にて第3回橘音楽祭を開催



熊本城復興支援



東日本大震災・熊本地震復興支援チャリティフェスティバル「タチバナフェス」開催

アクティビティ(奉仕活動の一例)

「清楚にして香り高く」を一年一年積み重ね、過去を見つめ直し、未来を見据えたアクティビティの一例です。



橘ふれあいコンサート開催



鴨川クリーンハイク参加



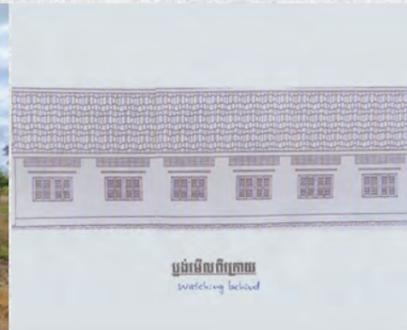
京都マラソン沿道整理活動



社会福祉法人日本介助犬協会へ繁殖犬購入の協力金



カンボジア「スラエ・スタウ小学校」建設支援金拠出



カンボジアタケオ州トラン郡に井戸3基建設



公益財団法人京都YMCAへ子供支援基金拠出



結成60周年記念「音楽を志す皆様のためのチャリティーコンサート」開催



乳児院 積慶園へお散歩バギー4台寄贈



児童養護施設迦陵園へ車両寄贈



宮崎橘LCとの合同アクティビティとして京都府立植物園へベビーカー寄贈

当クラブには多彩な同好会とさくら会(旧婦人部)があります。社会奉仕活動(アクティビティ)を実践するためには、各会員間のチームワークをより強固なものにする必要があります。同好会はまさに同じ趣味を持った会員相互が集い、同じ時間を楽しく共に過ごすことにより会員同士の親近感を深めます。さくら会は、会員の配偶者で構成される旧婦人部です。現在は女性会員も増えてきましたので、御所の「左近の桜」にあやかり命名されました。社会奉仕活動はもちろん、春秋二回の親睦会では多数の参加があり交流を深めます。

同好会紹介

アイボリークラブ



アイボリークラブは麻雀の同好会で、その歴史は橘ライオンズクラブの創世記にまでさかのぼります。麻雀といえはすぐに賭け事を連想される方がおられるかもしれませんが、私達は会員同士の親睦を目的としていますので、射幸性は限りなく低くして、楽しく和気あいあいをモットーに活動しています。また麻雀には夜更かしが付き物ですが、アイボリークラブは昼間に対局、夜は懇親会という二部構成を取っていますので大変健康的。陽気で気の置けないメンバーばかりですので、麻雀はしなくても懇親会にだけ顔を出してくださる方もいらっしゃいます。

古都を楽しむ集い



「古都を楽しむ集い」は、清酒「古都」を楽しみながら、和気あいあいと語り合い、会員間の距離がギュッと縮まる同好会です。2月はしぼりたて新酒で、10月はひやおろしを中心に、健康に留意しながら楽しんでおります。毎回少し飲み過ぎたかなと思いますが、なぜか次回開催が楽しみになるそんな同好会です。

陶芸教室「こーねる会」



「こーねる会」は文字通り土をこねて陶器作りに励んでいる同好会です。基本月1回土日祝日に午前中2時間で10人余りで活動しています。ご指導頂いている川尻先生ご夫妻はとても優しくまた面白いお人柄です。教室内では手も口も動いており、作陶の会なのかお喋りの会なのか分からないくらい仲良く楽しく過ごしています。12月は教室の後忘年会で美味しい料理やお酒で大盛り上がりです。作品を見るとそれぞれ個性豊かで思わぬ才能を発見し、その人の新たな側面を感じることができて有意義な会だと思います。